

I. 広東省

1 習近平・国家主席が港珠澳大橋の開通式典に参加

●23日、広東省珠海市で港珠澳大橋の開通式典が開催され、習近平・国家主席が式典に出席及び大橋開通の宣言をした。習主席は「広東・香港・マカオビッグベイエリア建設に重要な作用を発揮する」と述べた。韓正・国務院副総理も式典に出席し挨拶上で「港珠澳大橋の開通により、3つの地域の人的交流や経済・貿易の往来、広東・香港・マカオビッグベイエリアの発展、珠江デルタ地区の競争力等が強化され、互恵的発展に重大な意義を持つ」と述べた。韓正・副総理による挨拶の後に、李希・広東省党書記、キャリー・ラム香港行政長官、崔世安・マカオ行政長官が挨拶をした。丁薛祥・総書記弁公室主任、劉鶴・副首相、董建華・中国人民政治協商会議全国委員会、何厚鏘・全国政協副主席、梁振英・副主席も式典に参加した（24日「南方日報」1面）。

2 1月～9月までの広東省での4Kテレビ販売台数は約1,448万台

●広東省工信庁によれば、1月～9月までの4Kテレビの販売台数が1448.2万台（前年同期比29.1%増）だったことを明かした。また新エネルギー自動車は59,682台（同比116.6%増）、工業用ロボットは25,509機（同比35.7%増）だった（25日付「南方日報」1面）。

3 習近平・国家主席が広東省を視察

●22日午後、習近平・国家主席は、珠海横琴新区広東マカオ合作中医薬科学技術産業パークを視察した。習主席は、動画を鑑賞後、模型、中医薬製品展示場を見学し、横琴新区建設計画及び運営方針、中医薬産業発展と国際交流協力状況を把握した。その後、習主席は現場で、中医薬製品の生産工程を参観した。

●習主席は、「横琴新区建設の初心はマカオの産業が新しい物を生み出すコンディションを多元的に発展させることであった。元来横琴には、広東とマカオが協力する土地としての優位性そのものがあり、政策によって産業の下支えを強化し、協力の内容を充実させ、新たな協力領域を開拓し、新産業を発展させ、マカオ経済発展の活力をより一層促進していく必要がある」と述べた。

●22日夕方、習主席は、格力電器有限公司を訪問し、企業の自主的な核心的技術開発と産業高度化の促進の状況について視察した。科学技術展示ホールと精密部品生産現場で、習主席は、企業の製品や技術の展示を参観し、企業のイノベーションの発展と党組織の建設状況等を詳細に把握した。

●習主席は同科学研究員に対し、「実体経済は一国の経済が成り立つ基礎であり、富の源である。中華民族奮闘の基礎は、自力更生や独自イノベーションによる科学技術の世界最高峰への到達であり、全ての企業はこの方向で努力奮闘しなければならない」と述べた。

●23 日午後、習主席は、清遠市所轄の英徳市電子商取引産業パークを訪問し、広東省が押し進めている粵東西北貧困撲滅の任務と農村総合改革活動報告を聴取し、これらの活動に肯定的な考えを示した。

●習主席は、「都市と地方の発展の不均衡は広東省の質の高い発展にとって最大の弱点である。都市と地方の二元的な構造の問題の解決の技量を身につけなければならない。問題点を潜在的な力に替え、粵東西北地区の自然環境の優位性を生かし、絶えず発展のための空間を開拓し、最後までやり遂げなければならない」と指摘した。

●産業パーク視察後、習主席は英徳市連江口鎮連樟村を訪問した。村の公共サービスステーションで、習主席は党建設の基礎、貧困撲滅、村民サービス状況を詳細に把握した。その後扶貧玩具加工工場を訪れ、同工場の工員と言葉を交わした。また、習主席は貧困家庭を訪れ、慰問した。

●習主席は、「産業による貧困対策は、直接的かつ最も有効な方法であり、人民が長期的に就業できることを助けなければならない。貧困地区へ多くの産業プロジェクトを根付かせることを押し進めなければならない。多くの組織が団結して農村の貧困を脱し、小康社会を築かなければならない」と指摘した。

●24 日午前、習主席は、広東省改革開放 40 周年記念展示場を参観した。展示場では、現在と過去がはっきりと分かる対比写真や、現在までの歴史の歩みの再現等が展示されており、習主席は展示内容の詳細について質問をした。

●習主席は、広東省改革開放関係者の代表者達と会見し、「今年は改革開放 40 周年であり、中国の成し遂げた発展と成果は、世界から中国への認識を新たなものにしている。困難を克服し、より広い分野で開拓を続け、向上しなければならない」と述べた。

●広東省改革開放 40 周年記念展示場視察後、習主席は、広東自由貿易試験区深セン前海蛇口エリアを訪れ、前海の開発状況を実地視察した。

●また前海石の前で同地の建設に関わる代表者と会見した。習主席は、前海の建設を着実に押し進め、深セン・香港間の協力、一帯一路と広東・香港・マカオビッグベイエリア建設、国際協力の促進等に更に大きな役割を果たすよう述べた。

●24 日昼、習主席は、深セン市竜華区民治街道北駅コミュニティーを訪れ、地域社会の公共サービス、党建設の基礎、コミュニティー管理などの状況を把握した。セルフサービス図書館、児童支援施設等を訪問した。

●習主席は、「更なる資源、サービス、管理をコミュニティー内に備え、大小の住民サービスに適合し、住民誰もが参加、尽力、共有ができるコミュニティーを実現していかなければならない」と述べた。

●24 日午後、習主席は、広州市荔湾区西関歴史文化街区永慶坊を訪れ旧市街地の改造・歴史的文化的建築物の修繕・保護について視察するとともに、粵劇芸術博物館を視察し、広州市都市計画建設管理活動に関する報告を聴取した。

●習主席は、都市計画・建設において歴史文化保護を特に重視していると述べ、地方の特

色の強調、住居環境の改善に注意を払わなければならない等、文化と環境の重要性についても述べた。

●習主席は、暨南大学で学校の歴史や成果に関する展示を参観し、図書館で華僑華人文献コーナーの所蔵文献等を深く調べ、かつ、香港・澳門・台湾出身の学生達や海外華僑の学生達と交流した。

●習主席は、「世界には5,000万以上の華僑がおり、これは我が国発展のための独特な利点である。改革開放には、華僑による功績がある。暨南大学は、華僑が祖国で中華文化を学習し伝承するための更に良い条件を作ってほしい」と述べた。

●暨南大学視察後、習主席は広州明珞汽車裝備有限公司を訪れた。企業のイノベーション体験センターでは、広州明珞自動車設備、広州潔特生物過濾有限公司、広州視源電子科学技術有限公司、広東樂源デジタル技術有限公司、広州禾信儀器有限公司等の企業の製品が陳列されており、習主席は企業の研究開発、販売、輸出等の状況について詳細に把握した。

●習主席は、「民間企業による我が国への経済発展の貢献はとても大きい。民間企業、中小企業の発展のために我々は更なる環境を用意したい。民間企業、中小企業は、祖国強大と人民の幸せのために貢献して欲しい」と述べた。

●今回の視察には、丁薛祥・総書記弁公室主任、劉鶴・副首相、何立峰・国家発展改革委員会主任及び中央の関係部門の責任者が同行した（26日「南方日報」1面）。

※格力電器有限公司は1991年に設立された中国の大手家電メーカーで、世界最大級の住宅空調メーカー。2016年の売り上げの8割以上はエアコン。本社は広東省珠海市。

※広州明珞汽車裝備有限公司は、2008年に設立された華南最大の自動車部品開発と販売を行っている。本社は広州市。

4 温国輝・広州市長が京都大学イノベーションキャピタル株式会社一行と会見

●25日、温国輝・広州市長が、室田浩司代表取締役率いる京都大学イノベーションキャピタル株式会社一行と会見し、広州民営投資有限公司との包括業務提携に関する協定を締結した。温国輝・市長は広州の発展の原動力はバイオ医薬等の新興産業であり、質の高い経済の発展を推し進めている。京都大学イノベーションキャピタル株式会社と広州民営投資有限公司が「一帯一路」と広東・香港・マカオビッグベイエリアのチャンスを掴み、研究プロジェクトを応用して欲しいと述べた。室田代表取締役は、我が社は京都大学で新薬研究開発の領域で優位性を発揮しており、広州企業との協力を深めることや、更に多くの日本のバイオ医薬機構・企業が広州で投資することを希望していると述べた。会見には、石塚英樹・在広州日本国総領事館総領事も同席した（26日付「南方日報」AⅡ1面、26日付け「広州日報」10面）。

5 在広州ベネズエラ総領事館が開館

●27日、欧陽衛民・広東省副省長が、ロドリゲス・カストロ（Rodriguez Castro）・ベネズ

エラ統一社会主義党副党首兼ミランダ州知事と会見した。ロドリゲス副党首は、在広州ベネズエラ総領事館開館のイベントに参加した（28日「南方日報」6面）。

II. 広州市

1 広州市地下鉄で新技術による安全検査を試験導入

●広州市の地下鉄で、26日から3つの新技術による安全検査が試験導入された。万勝圍駅、珠江新城駅、嘉禾望崗駅では集中画像判別システムが導入され、AIを用いて物品検査の判別を補助する。花都広場駅では新型のテラヘルツ検査装置により、金属物質だけではなく、非金属物質についても探知する取り組みを始めた。万勝圍駅、珠江新城駅、嘉禾望崗駅、体育西路駅では、顔認証システムを取り入れた。利用するためには専用アプリをダウンロードして実名登録が必要となる（25日付「広州日報」14面）。

III. 深セン

1 今年1月～9月までの深セン市での企業設立登記は約23万社

●今年1月～9月までに深セン市で新たに登記された企業は約23万社だった。そのうち、第1次産業が515社、第2次産業が15,565社、第3次産業が213,232社だった。第3次産業が93%を占めた（23日付「深セン特区報」3面）。

IV. 海南省

1 劉新成・全国政協副主席が海南省を視察

●17日～21日、劉新成・全国政協副主席率いる全国政協視察団が海南省を視察し、公共文化建設と展開について視察した。劉副主席一行は、保亭黎族苗族自治州非物質文化遺産登録陳列館、県民族博物館、響水鎮番道村、海口市竜華区玉沙社区、三沙永興島、趙述島等を訪れ、公共文化建設の基礎となるものを实地視察した。また、視察団は17日午後、海口市で座談会を招集し、公共文化建設と関連事項の情況報告の聞き取りと、意見・提案を出した（22日付「海南日報」1面）。

2 今年1月～9月までの海南省の電子商取引額は約1,450億元

●海南省商務庁によれば、今年1月～9月までの電子商取引額は約1,450億元だった。前年同期比27.27%増だった（25日付「海南日報」1面）。

（了）